

## 1枚目の画像

[A] イベントが成功するかどうかは、誰が私たちに協力してくれるかにかかっている。

- ・完成文: (The success) (of) (the event) (depends) (on) (who) will cooperate with us.

・並び順: オ → イ → エ → ア → ウ → カ

・解答: 30:オ(the success) / 31:ウ(on)

・解説: 「AはBにかかっている」は A depends on B と表現する。主語は「イベントの成功」なので the success of the event となる。

[B] プロジェクトが中止になったので、私たちがつぎ込んだすべての時間と労力は無駄になってしまった。

- ・完成文: The project was canceled, so all the time and effort (we) (put) (into) (it) (was) (wasted).

・並び順: カ → ウ → ア → イ → エ → オ

・解答: 32:イ(it) / 33:オ(wasted)

・解説: all the time and effort を関係代名詞(省略されている)が修飾する形。put A into B(AをBにつぎ込む)の語順と、受動態 was wasted(無駄にされた)を組み合わせる。

[C] 物ごとはいつも思い通りにいくとは限らないというのは常識だ。

- ・完成文: It is common knowledge that things do not always (go) (the) (way) (we) (want) (them) (to).

・並び順: ア → イ → オ → カ → ウ → エ

・解答: 34:イ(the) / 35:エ(to)

・解説: the way (that) S V で「SがVする通りに」という意味。文末の to は代不定詞であり、to go の繰り返しを避けるために置かれている。

[D] 荷物が輸送中に破損したとの知らせに、ヘンリーは驚いた。

- ・完成文: It (surprised) (Henry) (to) (be) (notified) (that) his package had been damaged in transit.

・並び順: エ → イ → カ → ア → ウ → オ

・解答: 36:エ(surprised) / 37:カ(to)

・解説: 形式主語 It を用いた構文。It surprises someone to do...(...することは人を驚かせる) の形を作る。知らせを受けるのは受動態 be notified that... となる。

## 2枚目の画像

[A] 私は執筆に以前の三倍の時間を費やしている。

- ・完成文: I spend (three times) (as much) (time) (as) (I) (used to) writing.
- ・並び順: エ → イ → オ → ア → ウ → カ
- ・解答: 30:オ(time) / 31:ウ(I)
- ・解説: 「～倍の...」は 倍数表現 + as much + 名詞 + as ~ で表す。used to の後ろには spend が省略されている。

[B] 労働者の健康管理は産業医によってなされており、毎年その医師たちによる健康診断が行われている。

- ・完成文: (The workers' health) (is) (cared) (for) (by) (the company doctors), who give them a health check once a year.
- ・並び順: カ → エ → イ → ウ → ア → オ
- ・解答: 32:イ(cared) / 33:ウ(for)
- ・解説: care for(～の世話をする・管理する)を受動態にした be cared for by を用いる。主語は the workers' health となる。

[C] 昨夜遅くなつて初めて事件の真相が明らかになった。

- ・完成文: Only (late) (last night) (was) (the truth) (of) (the case) revealed.
- ・並び順: イ → ア → カ → オ → ウ → エ
- ・解答: 34:イ(late) / 35:ア(last night)
- ・解説: Only で始まる副詞句が文頭に来るため、主節が疑問文と同じ語順に倒置 (was + 主語 + 過去分詞)される。

[D] 研究者はこの経済援助が経済を活性化させるために有効であることをこれから証明しなければならない。

- ・完成文: Researchers (have) (yet) (to prove) (this financial aid) (to) (be) effective to boost the economy.
- ・並び順: イ → カ → オ → ウ → エ → ア
- ・解答: 36:オ(to prove) / 37:エ(to)
- ・解説: have yet to do で「まだ～していない(これから～しなければならない)」という重要表現。また、prove A to be B(AがBであると証明する)の形を作る。

## 3枚目の画像

[A] 唯一真実といえる英知は自分が何も知らないことを知ることにある。

- ・完成文: The only true wisdom (is) (in) (knowing) (you) (know) (nothing).
- ・並び順: イ → ア → エ → カ → ウ → オ
- ・解答: 30: ア(in) / 31: ウ(know)
- ・解説: ソクラテスの「無知の知」に関する一文。wisdom is in doing... (知恵は...することにある)という構造。

[B] 私は何もしないでいるとへとへとになくなってしまうが、仕事で疲れたという記憶はない。

- ・完成文: I never (remember) (feeling) (tired) (from) (work), (though) idleness exhausts me completely.
- ・並び順: ウ → ア → オ → イ → カ → エ
- ・解答: 32: ア(feeling) / 33: カ(work)
- ・解説: remember ~ing で「～したことを覚えている」。tired from work(仕事で疲れた)を後ろに繋げ、逆接の though で後半の節に繋ぐ。

[C] 私たちはアルコールに食欲を増進させる働きがあることを経験的に知っている。

- ・完成文: We know (from) (experience) (alcohol) (can) (help) (improve) the appetite.
- ・並び順: エ → ウ → ア → イ → オ → カ
- ・解答: 34: ア(alcohol) / 35: オ(help)
- ・解説: know from experience(経験から知っている)という慣用句を用いる。help (to) improve は「改善するのを助ける(増進させる)」という意味になる。

[D] 他に見るものもすることもなかったので、我々は庭に出ることにした。

- ・完成文: (With) (nothing) (else) (for) (us) (to) see or do, we decided to go out into the garden.
- ・並び順: カ → ウ → ア → イ → オ → エ
- ・解答: 36: ウ(nothing) / 37: イ(for)
- ・解説: 付帯状況の with を用いた「with + 名詞 + 形容詞/句」の構文。nothing else for us to see(私たちが他に見るべきものは何もない状態で)となる。